

豊岡市日高町 清滝地区地域づくり計画

“清滝地区のこれからを考える清滝ビジョン”

共に助け合い、みんなでつくる活力ある
新しい地域コミュニティの構築を目指して



令和4年(2022年)3月

桜・清流の郷 きよたき

清滝地区地域づくり計画
“清滝地区のこれからを考える清滝ビジョン”策定にあたって

地域づくり検討委員会の報告に寄せて

清滝地区コミュニティ
桜・清流の郷きよたき
会長 野口 逸敏

清滝地区コミュニティの諸事業の取り組みについて40数名の区民の皆さまに、地域づくり計画を検討するに当たり、ご協力を頂きアンケートをお願いして、実施を致しました。

少子高齢化が進み人口減少、準限界地区も増えつつあります。

清滝地区コミュニティを中心とした今後の諸事業の在り方、将来の地域像を検討委員会の方々（10名）、豊岡市の担当者、助言者の方で検討頂き、8回の会議の上、最終報告書の提出を頂きました。報告されました事案について、精査をしながら諸事業に反映させたいと思います。

終わりに、正副委員長をはじめ検討委員会の皆さまにお礼を申し上げますとともに、委員の皆さまには、今後の清滝コミュニティの取り組みに積極的に参加を頂き、ご指導頂ければ幸いです。

令和4年（2022年）3月

桜・清流の郷 きよたき
会長 野口 逸敏

清滝地区地域づくり計画 目次

第1章 基本的な事項

- 1. 桜・清流の郷 きよたき 地域づくり計画の策定について ----- 3
- 2. 桜・清流の郷 きよたき 地域づくり計画の対象範囲 ----- 4

第2章 清滝地区の現状と問題点・課題

- 1. 地区の現状 ----- 5
- 2. これまでの取り組みの検証 ----- 10
- 3. 地域コミュニティに関するアンケートの結果 ----- 12
- 4. 清滝地区における地域づくりの問題点・課題 ----- 21

第3章 清滝地区の将来像

- 1. 清滝地区の将来像 ----- 22
- 2. 地区住民の5年後、10年後の生活像（事業・活動方針） ----- 23

第4章 将来像実現に向けて必要な取り組み

- 1. 取り組みの重みづけ ----- 24
- 2. 当面（向こう3年程度）の取り組み内容 ----- 25
- 3. 次期（2025年頃～）の事業展開イメージ ----- 31

第5章 計画の推進体制と点検評価 ----- 32

第6章 今後の課題 ----- 33

第1章 基本的な事項

1. 桜・清流の郷 きよたき 地域づくり計画の策定について

豊岡市では、旧地区公民館の区域を基本に、全29地区で地域コミュニティづくりを進めています。

地域コミュニティづくりは、若者から高齢者まで、男性も女性も、多様な住民が参画しながら地域の未来を見据えて住民自治を進める取り組みです。

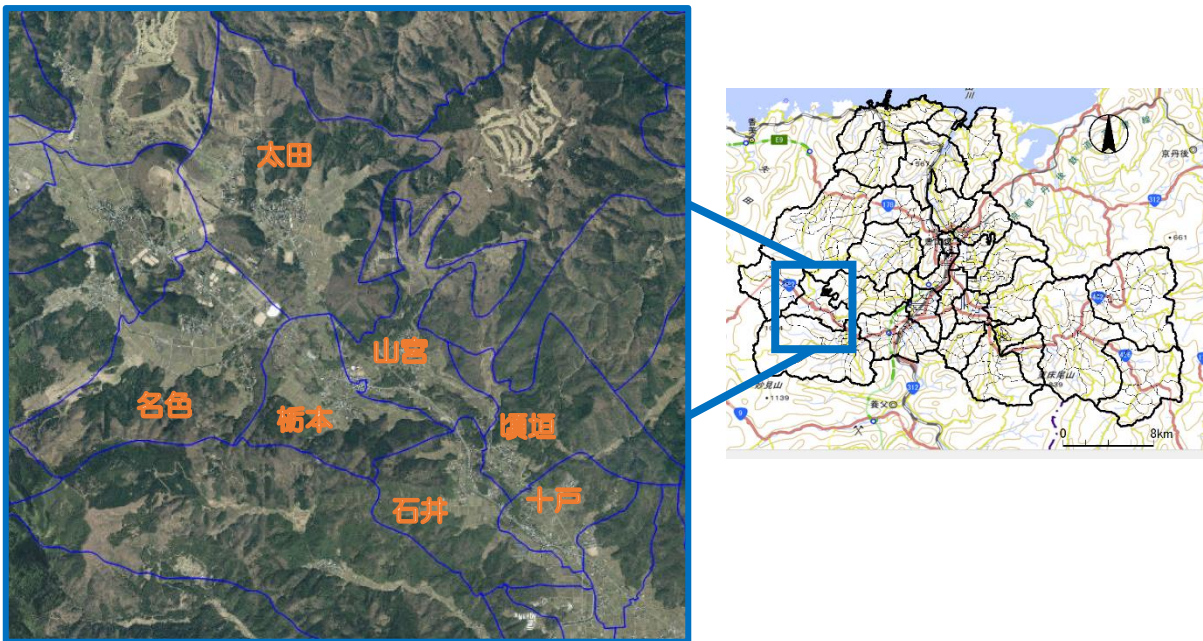
また、地区公民館は平成28年度に廃止し、平成29年度からは一斉に「コミュニティセンター」へ移行し、地域コミュニティ組織の活動拠点と位置づけ、住民自治の拠点として生まれ変わりました。

清滝地区においては、「桜・清流の郷 きよたき」が本格始動して4年が経過し、地域情勢や住民ニーズが変化する中、この度、住民ニーズや関心について改めて把握し、清滝地区地域づくり計画“清滝地区のこれからを考える清滝ビジョン”の作成を進めてきました。作成にあたっては、検討委員会を設置し、これまでの取組み内容の振り返りや今後必要性が見込まれる取組みを中心に議論してまいりました。

本計画書は、策定から10年後に向けた将来像、5年後、10年後の生活像（事業・方針）を掲げ、これらを実現するための向こう3年程度の取組み内容を示したものです。本計画書に基づき、計画策定後も必要な推進体制の検討や地域情勢に見合った取組みを進めていきます。

2. 桜・清流の郷 きよたき 地域づくり計画の対象範囲

本計画の範囲は清滝地区コミュニティセンター（清滝地区を構成する7行政区）の範囲とします（図表1.1）。



図表-1.1 清滝地区の範囲と行政区
※国土地理院地図（標準地図）と国勢調査区画図から作図

第2章 清滝地区の現状と問題点・課題

1. 地区の現状

(1)清滝地区の概要

清滝地区の名称は、同地区の西に八反滝、東に十戸滝があり、その間にも二段滝、豊滝など多くの滝があることと、常に清流が溶岩の河床を洗っていることに由来しています。同地区は、豊富な清水でワサビと火山灰「黒ぼく」を利用した農業が盛んです。また、アウトドアスポーツのメッカ・神鍋高原の一角を占め、四季を通じてスキー、キャンプ、パラグライダーなどを楽しむため、多くの人々が集まります。

図表 2.1 清滝地区の主な魅力・施設

名 称
清滝小学校の桜
ヤチャ踊り
清滝溶岩流の景観
虹鱒の養殖・十戸の清水
かなべの里公園（十戸）・神鍋山
全但バス但馬ドーム
きよたき認定こども園
清滝小学校
JA 日高西支店
清滝駐在所
その他 各地区の豊岡市指定の文化財

図表 2.2 清滝地区に関する主な公共交通、買い物、医療、福祉情報

(2022年4月現在)

バス運行回数	8往復/日（全但バス・神鍋線）12便
最寄りの食料品店と車での移動時間	フレッシュバザール日高店（約15分）、ローソン名色店（約10分）、移動販売車（ガンピー）
最寄りの医療施設	神鍋診療所、谷垣医院
最寄りの福祉施設	日高西ディーサービスセンター、たじま荘

(2) 行政区の状況

図表 2.3 は行政区の人口、世帯、団体等の基礎情報であり、はじめの第一歩計画策定時に整理したものを今回整理しなおし、比較した表です。

約6年が経過し、人口構造や団体に所属する人数が変化し、個々の行政区のみで活動が難しい場合も考えられます。

図表 2.3 各行政区の基礎情報

	年	地区全体	十戸	頃垣	石井	山宮	栃本	太田	名色
人口	2015	1,487	212	126	200	306	152	256	235
※委員調べ	2021	1,464	198	122	195	274	136	264	275
人口(豊岡市人口ビジョン)	2030	1,212							
小学児童数	2015	97	18	7	11	16	6	23	16
※委員調べ	2021	57	6	7	10	10	4	10	10
中学生徒数	2015	37	5	0	7	13	1	8	3
※委員調べ	2021	38	9	5	6	7	1	5	5
子ども会人数	2015	141	13	12	21	29	4	40	22
※委員調べ	2021	111	15	12	18	18	7	16	25
老人クラブ会員数	2015	-	X	0	85	35	48	48	44
※委員調べ	2021	280	35	0	72	46	42	56	29
住民基本台帳人口	2021.3末	1,485	197	122	188	274	165	264	275
90歳以上	2021.3末	67	10	5	10	7	9	9	17
80代	2021.3末	144	20	11	16	31	15	25	26
70代	2021.3末	234	32	22	33	40	25	45	37
60代	2021.3末	298	43	29	33	43	37	61	52
50代	2021.3末	171	18	8	25	37	19	25	39
40代	2021.3末	150	17	9	18	35	20	28	23
30代	2021.3末	118	12	15	18	20	13	15	25
20代	2021.3末	91	12	4	13	23	11	16	12
10代	2021.3末	130	21	10	15	24	8	28	24
10歳未満	2021.3末	82	12	9	7	14	8	12	20
高齢化率(住基より)	2021.3末	40.1%	42.6%	44.3%	37.2%	36.9%	43.0%	42.0%	37.8%
75-割合	2021.3末	19.9%	20.8%	18.0%	22.9%	19.7%	20.0%	18.2%	20.0%
65-74割合	2021.3末	20.1%	21.8%	26.2%	14.4%	17.2%	23.0%	23.9%	17.8%
15-64割合	2021.3末	50.3%	45.7%	41.8%	54.3%	54.7%	51.5%	49.6%	50.2%
0-14割合	2021.3末	9.6%	11.7%	13.9%	8.5%	8.4%	5.5%	8.3%	12.0%
世帯数	2015	-	67	46	57	77	X	109	72
※委員調べ	2021	449	69	42	57	78	51	81	71
隣保数	2021								
独居老人世帯	2015	26	6	3	5	2	3	5	2
※委員調べ	2021	28	3	1	3	7	3	5	6
うち女性独居老人世帯	2015	19	4	3	3	1	3	4	1
※委員調べ	2021	23	2	2	2	6	3	4	4
75歳以上夫婦世帯	2015	27	4	3	1	8	4	2	5
※委員調べ	2021	21	4	2	4	3	4	2	2
空き家戸数	2015	30	2	3	9	2	3	8	3
※委員調べ	2021	42	4	6	9	4	9	5	5
農地面積(センサス・ha)	2020	209	18	10	27	22	26	56	50
耕作放棄地(センサス・ha)	2015	36.75	0.18	4.19	3.34	19.13	3.65	5.18	1.08
営農組合	2019	-	-	-	石井営農組合	-	-	-	-
自主防災組織	2021	7	十戸区自主防災組織	頃垣区自主防災会	石井区自主防災会	山宮区自主防災会	栃本地区防災会	太田区防災会	名色区自主防災会
女性会等	2021	1	-	-	-	-	-	-	すみれの会
青年・壮年会等	2021	1	-	-	誠石和会	-	-	-	-
高齢クラブ	2019	7	十戸老人クラブ	ころがき高齢クラブ	石井オービー会	山宮老人会	栃本老人クラブ	太田老人クラブ	名色シニアクラブ
サロン(補助)	2021	6	休止	●	にこにこ会	ひよっこサロン	栃本なかよし会	太田合歓の会	いきいきサロン
玄さん体操(補助)	2021	6	●	●	-	●	●	●	●
茶会/地域づくり活動(補助)	2021	5	-	●	●	●	●	●	-
見守り活動(補助)	2021	7	●	●	●	●	●	●	●

検討会メンバーによる調査

図表 2.4 は各行政区の現在の年間取組みを整理した表です。それぞれの区で様々な取組みが行われており、先に示した各区の基礎情報も踏まえ、いかに地域の自治運営や資源・魅力を将来に継承していくかの検討が必要と言えます。

図表 2.4 各行政区の年間行事

年間行事等	十戸	頃垣	石井	山宮	栃本	太田	名色
4月	初総会後、会食			桜の花見会 秋葉神社祭	初総会時懇親会		春の祈願祭 厄払い(42歳・60歳) 春の日役
5月			クリーン作戦			クリーン作戦	井瀬の日役
6月			防災訓練	桜の下刈り、管理			
7月			敬老会 川刈り				
8月	地藏盆 バザー・おどり	地藏盆 8月23日(地藏 さんを飾り、各家 庭が団子をお供 えする)	地藏盆 8月23日(育成 会・区民有志で 飾り付け、お線香 を焚き、お祀り)	地藏盆(老人クラ ブと子ども会女 子が主催) 八幡祭 盆の道日役 河川清掃 防災訓練		地藏盆 老人会による地 蔵尊周辺清掃	防災訓練(市民 総参加訓練)
9月				彼岸日役			敬老会
10月	秋祭り 祭典・グラウンド ゴルフ大会	秋祭り 神社を飾り、子 供ダンジリ	秋祭り 青壮年中心に竹 だんじり、お祓 い、子供だんじ り、餅まき 区民運動会	秋祭り(山神社)	秋祭り だんじり	秋祭り ビンゴゲーム・餅 まき・子供会によ るバザー、樽神 輿	秋祭り 10月第2土日 神輿、餅まき他 秋の祈願祭(新 生児)
11月	亥の子祭り(餅ま き)			新嘗祭 土産講			
12月							忘年会(各組)
1月		新年会 お正月明けどん ど	新年会	山の神講	どんど焼き		
2月							
3月	春祭り 祭典			祈願祭 彼岸日役 クリーン作戦			
その他 (通年実施、 毎年時期が 変わるもの など)	クリーン作戦	クリーン作戦 防災訓練 敬老会(コミセ ン) 健康教室	グラウンドゴル フ	敬老会	栃本会館掃除 防災訓練 クリーン作戦	グラウンドゴルフ 敬老会 防災訓練	クリーン作戦(年 2回) 福祉研修会 但馬管内ミニ旅 行

(3) 清滝地区の団体等

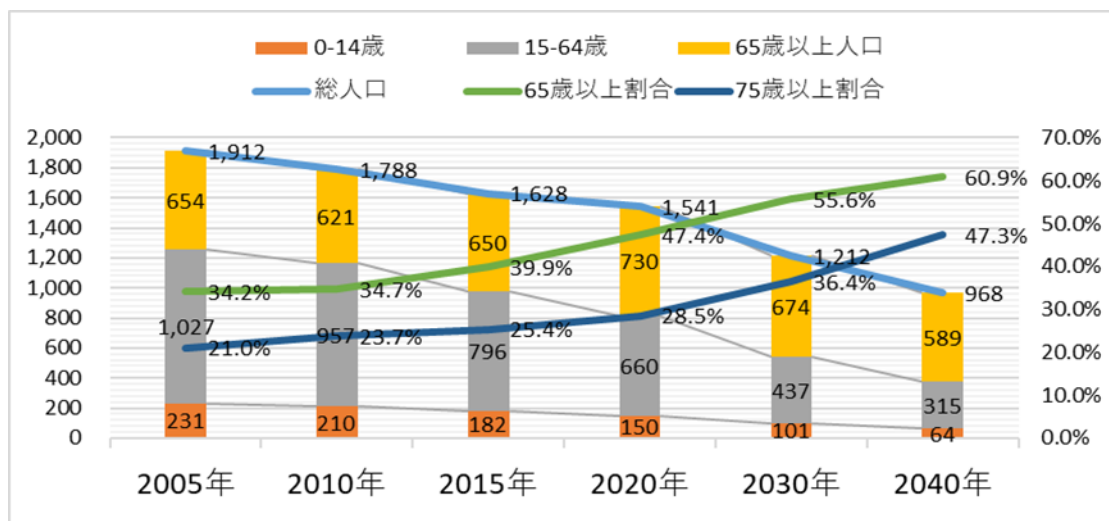
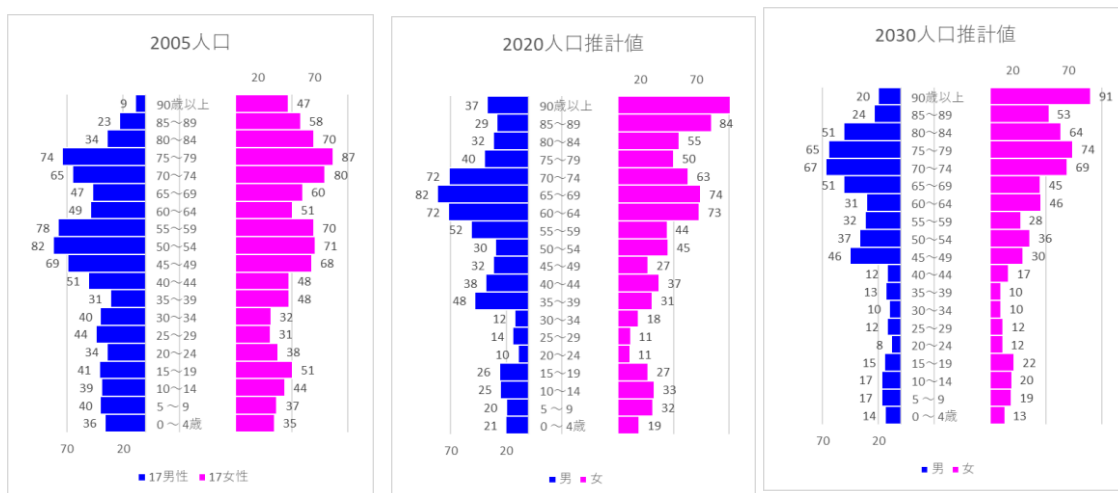
図表 2.5 は、清滝地区を単位とする団体等や取り組み状況を整理した表です。地域の特性を活かした団体もあり、今後、桜・清流の郷きよたきと共同で開催し、持続可能な取組みに繋げることが重要です。

図表 2.5 清滝地区内の活動団体

地域内の活動	内容	実施団体名
福祉	お一人お一人高齢者交流会	桜・清流の郷きよたき（地域振興部）
	グラウンドゴルフ大会	清滝地区老人クラブ連合会
	レインボーカフェ	地域の有志
	地域住民の見守り	民生児童委員・福祉委員
	たじま荘や学校の行事に参加し郷土の踊りを伝承する活動を行う	清滝ヤチャを広める会
環境保全	桜の定例管理作業	清滝・桜の会
	溶岩流の歩道整備	地域の有志
安心・安全	防災訓練	桜・清流の郷きよたき（地域振興部）
	消防の活動	消防団（15, 16 分団）
	消防訓練	桜・清流の郷きよたき（事務局）
	夏休み顔見知りラジオ体操	清滝校区青少年育成町民会議
	災害時の炊き出しなど（訓練）	日赤奉仕団
子育て・教育	乳幼児サークル	はぴはぴサクランボ（登録団体）
	キックベースボール・ちびっ子カーニバル	子連協の行事（町民会議）
文化・スポーツ	体育祭・ソフトバレーボール大会・ハイキング	桜・清流の郷きよたき（人づくり体育部）
	清滝桜まつり・文化の集い	桜・清流の郷きよたき（人づくり文化部）
	スポーツやサークル活動を通じて健康増進に努める	日高空手道クラブ・マヒナフラダンス・大正琴清滝グループ・太極拳清滝教室
地域外との交流等	清滝桜まつり	清滝・桜の会
	清滝溶岩流まつり	溶岩流まつり実行委員会
広報・情報発信	コミュニティだより・フェイスブック	桜・清流の郷きよたき（事務局）

(4) 清滝地区の人口と将来推計

人口推計によると 2030 年には人口減少や高齢化率が一層進み、行政区単位での活動が困難になることが予想されます。隣接する行政区同士の連携や、地域コミュニティ組織と行政区との間で共同して自治を進めていく必要があります。



図表 2.6 清滝地区の人口ピラミッド（上段）と人口構造（下段）
豊岡市人口ビジョン 2020 より

2. これまでの取組み検証

(1)桜・清流の郷 きよたきの取組み状況

清滝地区では、2017年3月に地域コミュニティ組織「桜・清流の郷 きよたき」を設立しました。

あわせて、設立初期段階の活動を計画的かつ効果的に推進するために「はじめの第1歩計画」を策定しました（図表2.7）。



図表 2.7 はじめの第一歩計画

旧公民館から続く伝統的な活動を継続しつつ、はじめの第一歩計画に示した活動を実施しました。

一方、活動を進めていく中で、清滝地区住民のニーズの変化等から新しい活動も始まっています。



ハイキング



防災訓練



レインボーカフェ

(2) 清滝地区のこれからを考えるワークショップ

住民のニーズに見合った取組みの検討やコミュニティ組織のあるべき姿の検討のため、2021年7月に地域づくり計画策定検討委員会を立上げ議論を重ねました。図表2.8は、検討委員会名簿、図表2.9は検討会での議題・作業内容を示しています。

図表 2.8 検討委員会名簿

(行政区順、五十音順、委員長◎、副委員長○)

委員	氏名	行政区
	北村 久美	十戸
	北村 道男	十戸
	清水 義明	十戸
	井本 加奈子	頃垣 ○
	福嶋 昭	石井
	安岡 由紀夫	山宮
	関口 香魚子	栃本
	坂口 美知子	太田
	谷口 雅和	太田 ◎
	辻野 由紀	名色
役員 (オブザーバー)	野口 逸敏	山宮 (会長)
	前田 英二	頃垣 (副会長)
	尾上 典生	名色 (副会長・区長会長)

図表 2.9 検討委員会の議題・作業内容

時期	内容	詳細
第1回 (7/26)	検討会の役割の共有	検討会の体制づくり、意見交換会に向けて (収集する情報、参加者検討)
第2回 (8/27)	計画の方向性を共有	計画の方向性を考えます (計画の方針にあたるもの)
第3回 (9/30)	意見交換会のすすめ方 (案)	意見交換会のすすめ方 (案)、参加者 (案) について、確認。
第4回 (10/15)	アンケート調査の進め方	意見交換会に代わるアンケート調査の進め方、学生アンケートの進め方について検討。
アンケート調査 10/15-10/24 地区の皆さんから意見を収集 (検討会メンバーで配布・取りまとめ)		
第5回 (11/25)	やるべき事業の検討	アンケートの意見から事業の整理。今までの事業の見直し。
第6回 (12/13)	第5回のつづき	既存事業の棚卸し、必要な見直し
第7回 (1/26)	実施体制・推進体制の検討	やるべき事業を踏まえて実施体制 (方向性) を検討
第8回 (3/4)	計画概要の確認	計画 (案) の全体を見渡して確認・検討する。

3 地域コミュニティに関するアンケートの結果

(1)住民アンケート

清滝地区住民のニーズ把握を行うため、図表 2.10 のとおり、清滝地区の各種団体のリーダー等へアンケート調査を実施しました。

図表 2.11.1、図表 2.11.2 は、回答内容についてキーワードを整理した表です。

①～④の設問を設けましたが、各設問の回答内容が重なる点も多く見られたため、「取組み内容について」と「取組みに参加する人について」に分けて整理しました。

図表 2.10 住民アンケートの実施状況

実施日	2021年10月15日～10月24日
対象者	清滝地区内の各種団体に所属する方等（検討会で人選）
回答数	37人
設問 (自由記述方式)	① 清滝地区で「もっとこんなことをやりたい」、「コミュニティでやれば盛り上がるのに」と思うこと ② コミュニティとどのように関わって行きたいですか。どんな人が関わっていけば良いか ③ 今までのコミュニティのやり方について、「こういうやりの方が良い」と思うこと ④ 地域コミュニティや区の活動・運営状況を含めて、考えや意見

清滝地区の これからの考える アンケート調査



桜・清流の郷 きよたき では、「共に助け合い、みんな
でつくる活力ある新しい地域コミュニティの構築」を
目指して、清滝地区地域づくり計画作成の検討会を立ち
上げました。

清滝地区で暮らす皆さんの思いを計画づくりの参考
としたいため、アンケート調査を行いますのでご協力
の程よろしくお願ひします。

桜・清流の郷 きよたき 会長 野口逸敏
同 地域づくり計画策定検討会 委員長 谷口雅和

図表 2. 11. 1 取組み内容について

地域福祉（高齢者、子育て等）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・高齢者の見守り活動 ・ 交通弱者対応 ・ 敬老会 ・ 高齢独居、日中独居へのケア ・ サロンの地区内放送 ・ 独居高齢者、母子家庭支援 ・ 住民の日常生活の維持（清掃活動・災害対策等） ・ 生活弱者対応を ・ 花の苗の配布はコミュニティを身近に感じた ・ 福祉・サロンのボランティアグループが必要 ・ フリマ、子どもの販売体験 ・ 婚活イベント ・ 子ども・若者対象イベント（映画上映、夏祭り、ゲーム、グラウンドゴルフほか） ・ コミセンホール開放。コミセンでのボール使用。子どもが気軽に使用できる工夫。 ・ PTA とコミュニティと協働資源ごみ回収（軽トラ手配も） ・ 学習塾等、児童・学生がコミセンに立ち寄るきっかけづくりが必要 ・ 子どもが遊ぶ場づくりが必要
地域防災
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平時からの関係づくり ・ 災害時の緊急対応スキーム ・ 除雪援助 ・ 台風時の声掛け ・ 区で防災訓練ができない。コミュニティで防災訓練があることに意味がある
地域資源や魅力
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源の活用・保全（養鱒、農産物、溶岩流、桜） ・ 雪まつり ・ 自然の PR、自然環境と触れる機会づくり ・ 桜、溶岩流イベントでの取材依頼・情報発信 ・ 桜を守っていくこと ・ 溶岩流ウォークとハイキングの統合 ・ 農業体験 ・ 朝市・直売所 ・ 空き家活用 ・ 移住定住の推進 ・ 遊休農地
学びや伝統文化
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を知ろうハイキング ・ 名所散策クリーン作戦 ・ 地区全体で秋祭りの子ども神輿。 ・ 作品展で野菜出品、園児・児童の作品 ・ 綱引き大会 ・ プロのコンサート等を呼ぶ ・ 体育祭は競い合うことはせず、健康づくりや世代間のふれあいの目的を。種目、ルールの変更を。 ・ スポーツ系イベントは家族で参加できる。 ・ 家族で参加できる料理教室 ・ 発表会、教室・講習 ・ そば打ち ・ いずみ会を活用してほしい

取組み内容一般

- ・ イベントを増やさず課題解決の事業へ
- ・ 大人から子供まで参加しやすい”簡単な”行事
- ・ 老人会が気軽に参加できる事業
- ・ 参画意識の醸成
- ・ 強制的に参加の風潮。参加したくなる魅力ある活動へ
- ・ 事業の目的と次の展開、仕掛け
- ・ 今まで通り。このままでも（問題がないならば）
- ・ イベントを増やすより質を高める
- ・ 区ごとにシンボルを持つ
- ・ コミュニティは長い目で見た活動をすべき
- ・ 事業がマンネリ化。違う活動を
- ・ 他のコミュニティの事例を取り入れる
- ・ 体制・事業の硬直化
- ・ 負担なく参加できる事業へ
- ・

取組み方法等

- ・ ICTの活用
- ・ 若者、地区外の人から意見を聞く
- ・ 働いている人は休日は休みたい
- ・ 活動がマンネリ化。意見を取り入れる工夫。
- ・ 行事を少なくする
- ・ 事業継続だけでなく規模縮小も
- ・ ボランティア活動を広げる
- ・ コミセンに出入りしやすい雰囲気づくり。
- ・ コミュニティとは何かを言えるように
- ・ 子どもと大人の交流、異世代交流、高齢者と子どもの交流、三世代交流、都市部との交流
- ・ 各区事業を地区事業へ再編
- ・ 住民同士で繋がる仕掛けが必要
- ・ 学校行事とコミュニティ行事の日程が重ならないように工夫
- ・ 西気地区との合同開催（子どもの事業）
- ・

図表 2. 11. 2 取組みに参加する人について

取組みへの関わり方、参加してほしい人
<p>(参加してほしい人、自分の関わり方等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民が助かることに関わりたい ・ 福祉、防災活動で協力したい ・ 子育て世代 ・ 体力維持活動としてのシニア ・ 災害時、緊急時のマンパワーになりたい ・ 除雪、掃除等協力したい ・ 非常時、災害時に貢献したい ・ 福祉・防災のマンパワーで関わりたい ・ 防災（防寒服づくり、簡単料理作り） ・ 防災訓練を住民全員 ・ 無理なく関わりたい（現役世代） ・ 依頼があれば協力したい。 ・ 事業・イベントで協力したい ・ マンパワーが必要な時 ・ 出来るだけ参加したい ・ 積極的に関わりたい。次期役員の手伝いをしたい <p>(参加してほしい年代等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生 ・ 子育て世代による企画 ・ 働いている人はしんどい ・ 50-60代 ・ 定年退職後の人など関わりやすいのではないか ・ 若い方と年配の方 ・ 若い世代とベテラン世代の間の役割で協力 ・ 団塊の世代 ・ 老人の方・老人会でも関われる工夫
取組み参加しやすいしくみ等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材発掘 ・ 今のままでいけないと思っている人が関わる ・ それぞれの専門。協力体制へ ・ 適材適所 ・ 誰もが関われる雰囲気。グループ作り ・ 現状のまま ・ 負担を減らす ・ 時間帯を考えて若い人が関わる。時間帯を変更しないと関わりにくい。出やすい曜日の工夫 ・ 個人も活動の中心になれるように。 ・ 活動サークル、団体も総会へ参加。 ・ 各区派遣ではなく、有志を募る部会へ ・ 一部の人しか声がかかっていない。毎回同じ人。負担がかかる。 ・ 特定の人負担は避ける。 ・ 部員が今まで関わっていない人になるようにする。 ・ 中高生が主体的にスタッフとして協力 ・ 部員だけでなく有志・協力者も。清滝青年部の立ち上げ ・ 主体的に参加できる仕組みづくり ・ 趣味の会を多く作り、交流の場へ ・ 区の課題をとらえて公平に、寛容な価値観を持つ人 ・ 各区・住民の意見が吸い上げる体制・役割 ・ 別荘地の住民の関わり、働きかけ ・ 清滝地区全体としての人員確保を。 ・ 区ごとに派遣要請は負担がある ・ 他に色々悩みがあり考えられない ・ 老人会加入者が少ない。魅力づくりが悩み

(2)小学生・中学生アンケート

清滝地区の将来を見据えて、将来地域を担う小学生、中学生に対して図表 2.12 のとおり、アンケート調査を実施しました。

アンケート結果は、清滝地区の将来を見据えた取組みに繋げるための参考とし、子どもたちが清滝地区といつまでも関わりたいと思ってもらえる地域を目指します。

図表 2.12 小学生・中学生アンケートの実施状況

実施日	2021年11月～12月
対象者	清滝地区内の小学4年生～6年生、中学生
回答数	小学生36人、中学生36人

図表 2.12.1 小学生の回答内容

問1 あなたの地区に住んでいて好きなどころ、無くなってほしくないことは何ですか
<p>(子ども等が関わりそうな内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会 ・清滝小学校 ・みんなが仲良く交流できる時がある <p>(資源・魅力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップかなべのとりくみ(トランポリンなど) ・滝 ・人数が多くてにぎやかなところ ・自然は無くなってほしくない ・スキー場 ・神鍋スキー場は無くなってほしくない ・好きなことは森がきれいなどころ ・八反の滝 ・十戸の滝 <p>(伝統文化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物が多くみんな優しい。 ・十七夜がなくなってほしくない ・民宿の町並み ・お祭り・クリスマス会 ・田んぼ・畑 ・近くの坂道 ・祭り・おみこしは無くなってほしくない ・十戸のお祭り ・お寺 <p>(コミュニティセンター・公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館が無くなってほしくない ・堂 <p>(運営など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが優しい ・全部なくなってほしくない <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に近い

- ・特にない
- ・コンビニ・ローソンが近くにあること
- ・すぐ近くに自動販売機があることと、田舎感があっていい
- ・近くに但馬ドームがあって楽しいです
- ・友だちの家
- ・栃本の友だちと家が近い

問2 「もっとこんなことをやりたい」、「これがあれば盛り上がるのに」と思うことは何ですか。

(子ども等が関わりそうな内容)

- ・子ども会でいろんなところに行きたい。
- ・山宮の人と遠くに行きたい。
- ・子ども会でどっか行く。
- ・地区遠足
- ・遊べる場所
- ・お祭り
- ・もっとみんなと遊びたい
- ・みんなでご飯を食べる(コロナ後)
- ・栃本のみんなでバスで動物園とか姫路城に行きたい
- ・みんなで色んなスポーツをすればいいと思う

(資源・魅力)

- ・クリーン作戦
- ・地形を生かしたイベント(滝や河だったらカヌーで下るとか)
- ・アスレチック
- ・頃垣の人たちと、アスレチックに行きたい。
- ・雪遊び・川遊び
- ・ドックランドがあればいいと思う

(伝統文化)

- ・おみこし・おまつり

(コミュニティセンター・公民館)

- ・公民館で泊まりたい

(その他)

- ・ハロウィンに何かをしたい。(パーティーとか)
- ・スキー場にパーク(ジャンプ台やボックス、レール、いろいろなアイテム)
- ・特にない。
- ・モルック・祭りの相撲
- ・クリスマスパーティとかもっとしたい

問3 あなたが大人になったとき(40歳ごろ)、この地区で暮らしていると思いますか。①②どちらかに○をつけて下さい。②と答えた人はどこで暮らしていると思うか書いて下さい。

①暮らしている	15人
②暮らしていない	20人
わからない	1人
②と答えた人はどこで暮らしていると思うか(重複あり)。	東京、長野や北海道や新潟、大阪、韓国、兵庫、都会、豊岡市内、東京、京都、姫路、芦屋、西宮、神戸、沖縄・長野、沖縄・福井、京都・大阪

問4 問3で「②暮らしていない」と答えた人に質問です。この地区を離れても、地区と関わりを持ち続けたいと思いますか。①②どちらかに○をつけてください。②と答えた人はその理由も書いてください。

①関わり続けたい	16人
②関わりたくない	3人
未回答	1人
②の理由	めんどくさいから、都会でくらしたい、移動が大変だから

問5 地区の将来に期待すること「こうなればいいのになあ」ということは何ですか？

(子ども等が関わりそうな内容)

- ・BMX パーク
- ・公園ができればいいのにな。
- ・もっと遊具がきれいになってほしい
- ・名色に公園があつたらいいなと思います
- ・体が不自由な方も楽しめること

(資源・魅力)

- ・自然が多く残っている地区になってほしいです。
- ・豊岡の人が増えてスキー場がいっぱいになってほしいです。
- ・動物とかが追いかけてこない地区にしたい。事故がない地区にしたい。
- ・自然が多くなつたらいいなあ

(コミュニティセンター・公民館)

- ・公民館をなおしてほしい

(人口減少・少子化)

- ・子どもがもっと増えてほしい。
- ・草むらを整備されている。
- ・子どもが増えてほしい。
- ・子どもが増える。
- ・大都市 ”
- ・人口が増えたらいいと思う。
- ・人数が増えて楽しい地区になってほしい
- ・子どもが増えてほしい
- ・犬が増えてほしい
- ・人口が減ってきているから、人口が増えてほしい

(その他)

- ・買い物ができる所がつくられればいい。
- ・グッズショップ (ジャンiesz)
- ・お店があつたらいいと思う。今よりも店が少し増えてほしい
- ・もっとにぎやかになること。
- ・にぎやかで不便のない地区
- ・イルミネーションを作つたらいいと思った。
- ・コンビニを増やす。コンビニがもうちょっと近くにほしい
- ・街灯をつけて、明るくしてほしい。
- ・本屋を増やしてほしい。
- ・スキー場がほしい。
- ・イオンとかが増えてほしい
- ・プロ野球の球場がある地区
- ・コロナがなくなつていたらいいなあ

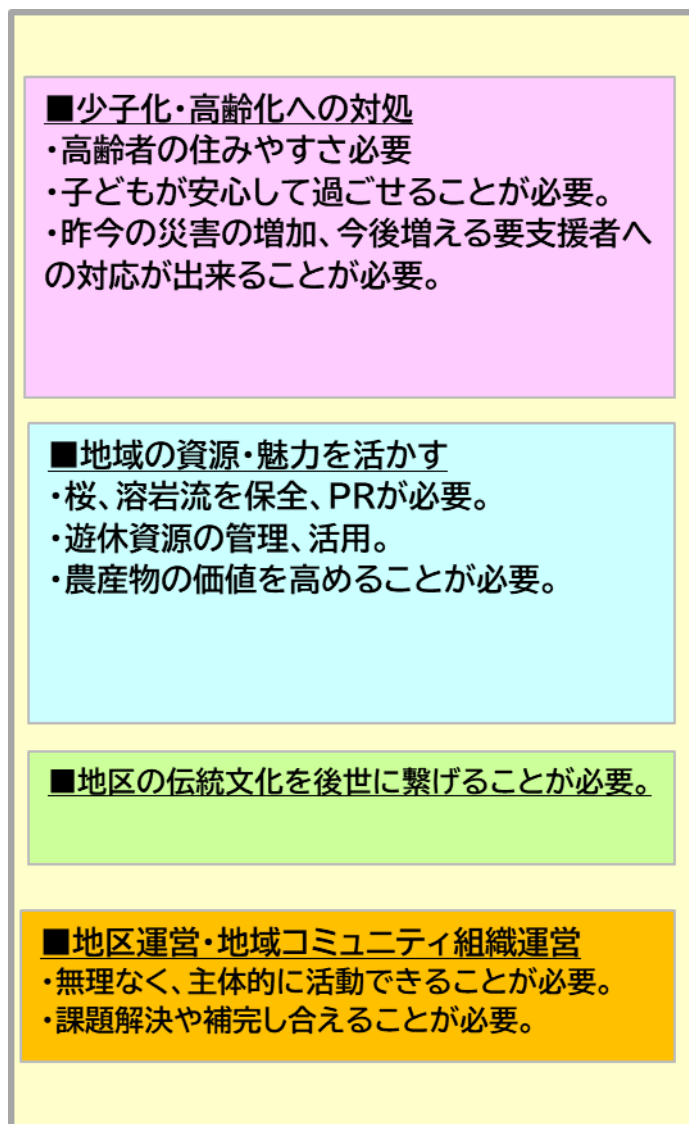
図表 2.12.2 中学生の回答内容

<p>問1 あなたの地区に住んでいて好きなどころ、無くなってほしくないことは何ですか</p>	
<p>(資源・魅力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かな所 ・ 十戸の会場にある桜 ・ 桜 ・ 自然がある事が好き ・ 山や花、川などの自然 ・ 桜がきれいだから好きです ・ スキー場、スキーやスノーボードができる山がある ・ 涼しい所が好き ・ 清水 ・ 森 <p>(伝統文化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りなどの行事がある <p>(運営など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これ以上この地区のイベントをなくしてほしくない <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和・洋・中華があること ・ かどや ・ 平尾商店は無くなってほしくない ・ 但馬ドームがある 	
<p>問2 「もっとこんなことをやりたい」、「これがあれば盛り上がるのに」と思うことは何ですか。</p>	
<p>(子ども等が関わりそうな内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園 ・ 卓球台がほしい ・ 遊び ・ 気軽に遊べる施設 ・ スポーツ大会 ・ ドームでたくさんイベントをする <p>(資源・魅力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 清滝の春夏秋冬をイメージした公園 <p>(伝統文化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りなどみんなが関われる状況をつくること ・ 祭りの他にも行事を増やす <p>(運営など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいことをやりたい ・ 新しい行事をすれば盛り上がる ・ マラソン復活 <p>(コミュニティセンター・公民館)</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今の十戸でいいから無い ・ 今のままで完璧 ・ いいお店、近くにお店 	
<p>問3 あなたが大人になったとき(40歳ごろ)、この地区で暮らしていると思いますか。①②どちらかに○をつけて下さい。②と答えた人はどこで暮らしていると思うか書いて下さい。</p>	
①暮らしている	17人
②暮らしていない	19人
わからない	0人

②と答えた人はどこで暮らしていると思うか（重複あり）。	大阪、都会、東京、大阪、近畿ではないどこか、都会の方、何処か、姫路、神戸の方
問4 問3で「②暮らしていない」と答えた人に質問です。この地区を離れても、地区と関わりを持ち続けたいと思いますか。①②どちらかに○をつけてください。②と答えた人はその理由も書いてください。	
①関わり続けたい	16人
②関わりたくない	3人
②の理由	虫が多い・交通の便が悪い、そう思ったから、めんどくさい
問5 地区の将来に期待すること「こうなればいいのになあ」ということは何ですか？	
<p>(子ども等が関わりそうな内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路（歩道）を広くすること→細く危険だから ・歩道を狭い所を広くして、歩行者も安全になった方がいい ・信号がもっとあったら安全になるかもしれない <p>(資源・魅力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然たくさんあるきれいな地区になってほしい ・自然を大切に出来る地区 ・自然を残した都市化 ・観光スポットがあればいいと思う ・特産物がいつまでも残る ・自然を残しながら発達していけば <p>(コミュニティセンター・公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十戸の会場の建物を建て直してほしい <p>(運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気の地区になったらいいな <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の十戸でいいから無い ・お店が出来る、便利な店が増える ・明るい ・いい町 	

4. 清滝地区における地域づくりの問題点・課題

アンケートの内容も踏まえ、検討会では、清滝地区及び桜・清流の郷きよたきの課題について次のとおり整理しました。



ケア・サービス、防災力の向上へ
魅力・資源の利活用へ
歴史・文化の伝承へ
桜・清流の郷きよたきの持続可能な運営へ

これらの課題の対処に向けて次章から将来像、将来に渡る取組み等を整理していきます。

第3章 清滝地区の将来像

1. 清滝地区の将来像

(1) 将来像

共に助け合い、みんなで作る活力ある新しい地域コミュニティの構築

清滝地区の活性化に向けて、桜・清流の郷きよたきでは、住民同士の絆を深め、子どもからお年寄りまで安心して暮らせ、いつまでも住み続けたいと思える清滝地区を目指します。

これに向けて、住民同士のかかわり方や参加したくなる取組みについて、みんなで考え、より良い地域コミュニティの構築に努めていきます。

(2) 運営方針

- ▶ みんなが顔見知りとなり、自然とコミュニティセンターに足が運ぶような運営を目指します。
- ▶ 自主性に富み、住民それぞれが活躍できる運営を目指します。
- ▶ 区同士が助け合いのできる運営を目指します。

運営にあたっては、アンケートでの住民の声や検討会委員の意見を踏まえ、図表 3.1 にある運営の視点を重視しながら、取組み実践を行います。

図表 3.1 運営の視点

運営の視点	説明
課題解決性	取組みにより課題解決に繋がっている
PR性	取組みの中で広報・公聴に繋がる仕掛けになっている
住民主体性	住民が自らやってみようとなる内容・仕掛けになっている
補完性	各区同士、世代間、地区外の人等と連携・助け合いの仕掛けになっている

2. 地区住民の5年後、10年後の生活像（事業・活動方針）

ケア・サービス、防災力の向上（地域福祉・地域防災）

私たち清滝地区の住民は、防災意識が強く、また、子どもからお年寄りまで安心して、暮らしやすい清滝地区を目指します。

対象・ターゲットなど（住民の中でも特に）

- 子ども
- お年寄り

魅力・資源の利活用（地域振興）

私たち清滝地区の住民は、桜や溶岩流などの自然環境の保全とともに、地域の恵みを活かした活力ある清滝地区を目指します。

対象・ターゲットなど（住民の中でも特に）

- 自然環境に関心がある人
- 農家・農地を持つ人
- 遊休資源の所有者

歴史・文化の伝承（文化振興・地元学、社会教育）

私たち清滝地区の住民は地区の伝統的な行事や文化、魅力を後世に繋げるため、みんなで学びあう清滝地区を目指します。

対象・ターゲットなど（住民の中でも特に）

- 地区の文化を知らない世代（子ども、若者）
- 歴史、文化、料理に興味がある人

第4章 将来像実現に向けて必要な取組み

1. 取組みの重みづけ

将来像実現に向けた必要な取組みについて、地区住民の5年後、10年後の生活像（事業・活動方針）を踏まえ、アンケートや検討会で得られた取組みアイデアを一覧表に整理しました。この内容から、「重要な取組み」、「すぐやるべき取組み」に重みづけをしました（図表4.1）。

図表 4.1 取組みアイデアと実施の重みづけ

4つの柱のうち事業・活動方針		新規アイデア	重要・面白いと思うもの	すぐにやるべきもの
①ケア・サービス、防災力の向上（地域福祉・地域防災） 防災に強く、子どもからお年寄りまで安心して、暮らしやすい清滝地区を目指します。	①- 1	お年寄りの交通等サービス		●●2
	①- 2	神鍋線利用・維持		●●●●●5
	①- 3	子ども、お年寄りの見守り		●1
	①- 4	自主防災の組織拡充・強化		●1
	①- 5	民生委員のサポート	●1	
	①- 6	ア 災害時の緊急対応スキーム	●1	
	①- 7	ア フリマ、子どもの販売体験	●1	
	①- 8	ア 婚活イベント	●1	
	①- 9	ア 子ども対象事業（映画上映、夏祭り）	●1	
	①- 10	ア 敬老会	●1	
	①- 11	ア 除雪援助	●1	
	①- 12	ア 台風時の声掛け		
	①- 13	ア 子ども対象イベント	●1	
	①- 14	ア 若者対象事業		
	①- 15	ア コミセンホール開放・子どもの遊び場		●1
	①- 16	ア サロン実施日の地区内放送		
	①- 17	ア ゴミだし、屋根の雪下ろし支援		
	①- 18			
	①- 19			
②魅力・資源の利活用（地域振興） 桜や溶岩流などの自然環境の保全とともに、地域の恵みを活かした活力ある清滝地区を目指します。	②- 1	自然環境の保全	●●2	
	②- 2	地元版溶岩流ウォーク		
	②- 3	コミュニティビジネス	●●●●4	●1
	②- 4	特産品づくり・特産品の再興		
	②- 5	農を介した都市農村交流・農業体験		
	②- 6	溶岩流の整備・保全		
	②- 7	ア 遊休農地対策・活用	●●●●4	
	②- 8	ア 空き家活用	●●●●4	
	②- 9	ア 移住・定住の受入対応		
	②- 10	ア 朝市	●●●3	
	②- 11	ア 直売所		
	②- 12	ア 雪まつり		
	②- 13			
	②- 14			
③歴史・文化の伝承（文化振興・地元学、社会教育） 地区の伝統的な行事や文化、魅力を後世に繋げるため、みんなで学びあう清滝地区を目指します。	③- 1	資源発見ツアー		
	③- 2	資源リスト		
	③- 3	昔の写真展示	●1	
	③- 4	歴史、行事、文化の継承・口承		●1
	③- 5	我が地区自慢		
	③- 6	ア 発表会		
	③- 7	ア グラウンドゴルフ、		
	③- 8	ア 名所散策クリーン作戦		
	③- 9	ア 秋祭りの子ども神輿。地区全体で。		
	③- 10	ア 作品展で野菜出品、園児・児童の作品		
	③- 11	ア 綱引き大会		
	③- 12	ア 家族で参加できる料理教室	●1	
	③- 13	ア そば打ち		

2. 当面（向こう3年程度）の取組み内容

取組みの重みづけを踏まえ、事業・活動方針ごとに、取組み内容を検討しました。取組み内容の検討においては、向こう3年程度の取組みとし、既存事業の必要な見直しと、必要な新規取組みを具体的に企画書（案）として整理しました。

今回の検討結果も踏まえ、各年度の事業計画策定に繋げていきます。

(1) ケア・サービス、防災力の向上

① 取組み概要

子ども、お年寄りをターゲットに広く交流が図れるよう、必要な新規取組み検討・見直し検討を図りました。各区へ出向いて取組みを行う等、コミュニティセンターの中にとどまらず、住民が参加しやすく、住民にやさしい取組みを実践します。

ケア・サービス、防災力の向上（地域福祉・地域防災）

事業名	実施部会等	連携団体等	新規	運営の視点（目安に）				実施の方向性 ※検討会での意見（継続検討を含む）
				課題解決性	PR性	住民主体性	補完性	
お一人暮らしの高齢者交流会	地域振興部	地域ボランティア・社協				○	○	年に1回各区へ出向く。全世代対象。名称変更も。
レインボーカフェ	地域ボランティア							お一人暮らし交流会と連動も。
花苗配布（高齢者世帯訪問）	3部会							高齢者との情報交換、見守りの機会に。名称はその都度
防災訓練	地域振興部	日赤奉仕団				○	○	テーマを決める。Rガードマップ配布。実施時期。区との役割整理。
フリーマーケット	飲食店、希望者	子連協・青少年会議	NEW	○			○	「まつり」の際に子どもが楽しめる機会づくり。
子どもの遊び場（コミセンホール開放）	事務局	青少年会議	NEW	○		○		子どもの遊び場・見守り。個人が気軽に企画できる場へ。
乳幼児学級	地域ボランティア							
女さん元気教室体験会	地域ボランティア	事務局		○			○	※教室は広くクエストを聞き、「地域づくりに繋がる学び」の場とする。内容は2022年度ニーズ調査。サークル化。
3B体操体験会	地域ボランティア	事務局						
男の料理教室	地域ボランティア	事務局						
夏休み工作教室	地域ボランティア	事務局						

図表 4.2 ケア・サービス、防災力の向上における取組概要

② ケア・サービス、防災力の向上における新規取組みの企画書（案）

ア) フリーマーケット

コンセプト	子どもが楽しめる縁日的な雰囲気
実施時期	コミュニティ関係のイベント時 準備は2日間で可能
実施場所	コミセン前 ・「コミセン内」や、「清滝小学校の運動場」、「脱着場」も候補にしているのでは。
実施方法	溶岩流まつり、桜まつり等で同時開催する。 令和4年度には間に合わないだろう。秋の「文化のつどい」だと実現可能では？ 何かのイベントに合わせて実施する方が、人が集まりやすいので同時開催については賛成。開催場所もまとめたほうが良いと思うから、コミセンと清滝小学校でやるのが良いのでは。 募集方法：チラシやネット 出店形式（出品したい人が、店番もする形）は、どうか？ 出店料をコミュニティが受け取って、その後の利益は出店者のもの。
主な対象者・ターゲット	子どもたち 全世代を対象にしたほうが賑やかになるのでは？ また、子どもたちが対象者だと、出品されるものの種類も限定されてしまう。 子どもたちが、売る側もしたりするのはどうか？
スタッフ・実施主体（コミュニティの中でも）	清滝地区内の飲食店や出店希望者などが 子ども会、青少年町民会議から情報伝達 （溶岩流まつりなど、区での出し物が難しい区に代わって）
予算（概算）	
その他	規模：清滝地区レベルから始めたらいいのではないだろうか。いずれは、日高西中学校区や日高町の規模を対象にしていくことができれば。 最初は出店数も少ないだろう。数年かけて、ジワジワと増えていくイメージ。他の地区からも出店者や参加者が来てくれるようなフリマになれば嬉しい。 保健所の許可がもらえたら、手作りクッキーなどの食品も売れる。

イ) コミセンホール開放・子どもの遊び場

コンセプト	色々な方にしたいことをしてもらって、コミセンへ気軽に足を運べる状態に。個人がしたいことをしやすいようにしていく
実施時期	コミセンの開館日
実施場所	コミセン（ホール、県民交流広場）
実施方法	まずは子どもを対象に。見守りの一環として、どの子が、どうしているか、コミュニティの事業として。地域、家庭、学校の3者での情報共有もセットで！ 将来的には、たより等で、したい活動ができることをPRする。 （例えば、プログラミング教室、ワークショップ）
主な対象者・ターゲット	まずは子どもたち（将来的には来たい人・興味のある人）
スタッフ・実施主体（コミュニティの中でも）	コミセン事務局（使用時のやりとりなど） 子どもの遊び場として、さらに、学校、地域、父兄が連携して、見守りの一環にも サークルや教室をするのであれば、先生は必要。
予算（概算）	

(2) 魅力・資源の利活用

① 取組み概要

自然環境に関心がある人、農家・農地を持つ人、遊休資源の所有者をターゲットに地域の資源・魅力を活かせるよう、必要な新規取組み検討・見直し検討を図りました。桜・溶岩流といった地域の魅力を清滝地区内外の人に知ってもらい、資源を保全出来る取組みを実践していきます。

魅力・資源の利活用（地域振興）

事業名	実施部会等	連携団体等	新規	運営の視点（目安に）				実施の方向性 ※検討会での意見（継続検討を含む）
				課題解決性	PR性	住民主体性	補完性	
清滝さくらまつり	人づくり文化部	清滝・桜の会		○	○			桜の会等との役割分担。保全意識の醸成に。
清滝溶岩流まつり	地域振興部	区長会		○	○			「イベント」と関連付け。会場の分散。各区のバザーにこだわらなくても良いかもしれない。保全意識の醸成に繋げる。
文化の集い野菜直売	人づくり文化部	3部会、地域ネットワーク	NEW		○	○		文化の集いで、農家を中心に野菜の即売

図表 4.3 魅力・資源の利活用における取組概要

② 魅力・資源の利活用における新規取組みの企画書（案）

ア) 文化の集い野菜直売

コンセプト	「コミュニティ何かやっている！」と地域の皆さんに思ってもらおう。更に参加してもらうことで、人との触れ合いを作る。			
実施時期	文化の集いにて開催（11月3日）			
実施場所	コミセン（駐車場）			
実施方法	3年間は文化の集いと一緒の実施して状況を見る →好評で無理がなければ開催回数を増やしてみる			
主な対象者・ターゲット	文化の集いに来てくれる人			
スタッフ・実施主体（コミュニティの中でも）	文化部からチラシを配布し、出店者を募集。その出店の方に運営も行ってもらおう。			
予算（概算）	費用の中身として、値札、ビニール袋、チラシ代			
その他	当日の店番を誰がやるかの調整→出店者同士で調整 販売手数料等の設定の検討も必要。 検討委員もこの事業に関わることができるように、コミュニティボランティア的なものを設けられたらよい。 焼き芋は人寄せには効果的。しかし、人手が必要になると思うので、運営の方の負担がないように実施してもらおう。 次年度実施する場合の簡単なスケジュール案			
	4～6月頃	7～8月頃	9月～	11月3日
	チラシで出店者（運営含む）呼びかけ募集	応募された方に集まってもらって、現段階の事業案（今まで検討会で議論してきた内容）を基に検討	逐次検討すべき事項が出てきたら実行委員の皆さんで会議を実施	文化の集いのタイミングで実施

(3). 歴史・文化の伝承（文化振興・地元学、社会教育）

①取組み概要

地区の文化を知らない世代（子ども、若者）、歴史、文化、料理に興味がある人をターゲットに地域の歴史・文化の伝承に向けて、必要な新規取組み検討・見直し検討を行いました。特に、旧公民館から継承する取組みの見直し、さまざまな人が主体的に参画できる取組みになるよう実践していきます。

歴史・文化の伝承（文化振興・地元学、社会教育）

事業名	実施部会等	連携団体等	新規	運営の視点（目安に）				実施の方向性 ※検討会での意見（継続検討を含む）
				課題解決性	PR性	住民主体性	補完性	
ソフトバレーボール大会	人づくり体育部					○		競技を色々なものに。区対抗でなく集まった人でチーム分け
ハイキング	人づくり体育部			○		○		溶岩流ウォークと関連付け。地域を歩いて調べる。
清滝地区体育祭	人づくり体育部					○		コースレース等、区対抗でなく集まった人でチーム分け
夏休みラジオ体操	人づくり体育部			○			○	良い取組みだが、単体でやるのはもったいない。
文化の集い	人づくり文化部	3部会				○		「仲間」と一緒に。部員が声掛けしなくてよい工夫を。
地域の昔を知ろう（写真展示等）	人づくり文化部	3部会、サポーター等	NEW	○		○		文化の集い展示、早い段階から収集。7-カイワ化。
陶芸教室	地域ボランティア	事務局		○		○		※教室は広くリクエストを聞き、「地域づくりに繋がる学び」の場とする。内容は2022年度コース調査。サークル化。 郷土料理教室は、地元住民が講師。料理自慢リスト作成から。
カートふくさ作り	地域ボランティア	事務局						
簡単おせち料理教室	地域ボランティア	事務局						
正月の寄せ植え	地域ボランティア	事務局						
かごバッグ作り	地域ボランティア	事務局						
スクラッチアート体験会	地域ボランティア	事務局						
地物を使った料理教室	地域ボランティア	事務局	NEW					
地域親睦日帰り旅行	事務局			-	-	-	-	親睦することは良いことだが、必要性の検討が必要

図表 4.4 歴史・文化の伝承における取組概要

②歴史・文化の伝承における新規取組みの企画書（案）

ア) 文化の集い“地域の「むかし」を知ろう”

コンセプト	昔のかっこいい時代・姿を見て学ぶ。地区の文化を将来に残しておく。
実施時期	文化の集いにて開催（ポスター展示） 出品案内は上半期から募集
実施場所	コミセン（ホールなど）
実施方法	文化の集いまでの間に早い段階で募集する。各区のサロンや玄さん体操で資料・情報の収集。 資料・情報の整理は茶話会的にサポーターを募り整理していく（コミセン内の資料も整理する）。
主な対象者・ターゲット	特に子ども達・若い世代
スタッフ・実施主体（コミュニティの中でも）	人づくり文化部の事業として（募集はたより等で） 各区のキーパーソン（老人会会員等）に協力してもらう。 資料整理はサポートしてくれる人を募る。
予算（概算）	データ化、冊子化等を2～3年後目指す。冊子製本費用、整理サポーターのお茶代、お菓子代。※専門家が入る場合は謝金。
その他	ヤチャ・そうだろ節の保全・起源整理も同様に実施。 郷土の歴史だけでなく生活の営みの整理（生活写真、道具、道の管理、家の場所）など、幅広い整理に繋げる。

イ) 地物を使った料理教室（郷土料理・地物を使った料理を伝えていこう）

コンセプト	地元野菜の使い方のパターン・レシピを増やして食事を豊かにする
実施時期	4月～アンケートで講座募集（生涯学習講座全般について） 9月頃から教室（年数回）
実施場所	コミセン（調理実習室）
実施方法	生涯学習講座の一つとする。アンケート形式で教室の内容・テーマを募集（上半期）。 内容募集をすることで、興味のある教室に参加できる。 地区の料理自慢をリスト化し、併せて住民の関心とマッチングする 簡単レシピになるようにする。また、家庭菜園等で余りがちな野菜等を対象にする。テーマ例（炊飯器レシピ、レタスレシピ、ニジマスレシピ、キャベツレシピ、ネギレシピ、ジャガイモレシピ、夏野菜レシピ、ワサビ） 郷土料理”とすると敷居が高いので、料理教室の中で郷土料理を取り入れる感じの工夫も
主な対象者・ターゲット	料理に興味のある方
スタッフ・実施主体（コミュニティの中でも）	地区の料理自慢 料理自慢リストができれば、チームとして企画も？
予算（概算）	材料費は参加者から負担金も。
その他	目分量等が多いためレシピにすることが難しい。レシピはたよりに掲載も。

3. 次期（2025年頃～）の事業展開イメージ

重みづけをした事業内容等を踏まえ、将来（次期：2025年頃～）に向けた事業展開を図表4.5に整理しました。当面の取組み状況により次期の新規事業の実施時期が前後する場合もありますが、将来必要な取組みを見据え、事業を実践していきます。

図表 4.5 次期の事業展開イメージ



第5章 計画の推進体制と点検評価

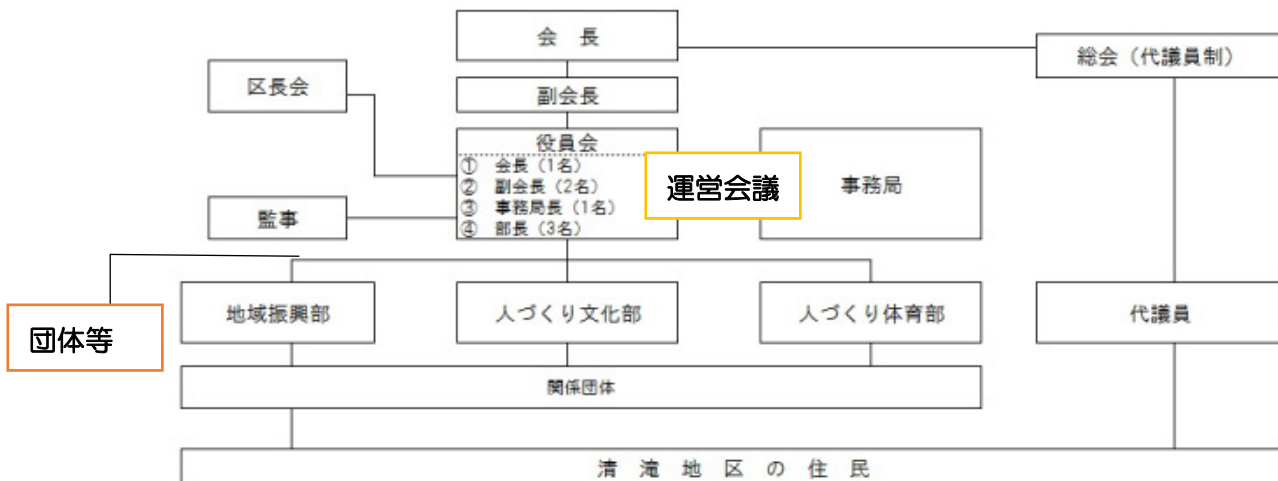
計画策定に向けた、清滝地区の将来を考えるワークショップ検討会においては、検討会を通じて、これまでの取組み評価、必要な事業の検討を行ってきました。

今後も引き続き、清滝地区、桜・清流の郷きよたきの取組みや運営について、適宜、評価・改善が図るため図表 6.1 のとおり推進体制・点検評価の各役割を整理しました。定期的に運営会議を開催し、PDCA（計画 P 実践 D、評価 C、改善 A）を回すことで、持続可能な住民自治運営に繋げられるよう努めます。

また、各部会、個人・団体等において、清滝地区の住民の主体的に参加できるよう、引き続き検討を進めていきます。

図表 6.1 推進体制・点検評価の各役割

推進体制	点検評価の各役割等
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・組織全般のマネジメント機能（地域人材の発掘・育成、各区をサポートする体制づくり） ・地域づくり計画の見直し、進捗管理 ・組織運営、事業の方向性を検討
各部会	<ul style="list-style-type: none"> ・区長会を通じた区からの派遣の体制 ・各部合同で、企画会議・反省会を行い、実施事業を評価 ※ ただし、部会の見直し、区からの派遣人数の見直し、区からの派遣以外の者も部員になれる等の検討も必要。
個人・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ※ 今後、個人・各種団体等が桜・清流の郷きよたきの構成員になれるような調整を行う。



図表 6.2 今後の組織図イメージ 案

第6章 今後の課題

1. 実施体制の再考

現在の桜・清流の郷きよたきの実施体制について、各区からの派遣による部の構成になっており、区から選ばれなければ部員になれない状況です。アンケートや検討会からは、区からの派遣により、部員（部長）の任期をこなすことが目的化している状況も見られ、負担感もうかがえました。

一方、区からの派遣を通じて、これまで関わりが薄かった住民が参画する機会にもなっており、地域人材の発掘・育成の要素を持ち合わせていることも事実です。

このことから、負担感の解消と地域人材の発掘・育成を見据えた「実施体制の再考」が課題であり、住民が気軽に参画でき、地域コミュニティに関わる人たちが納得して主体的に事業を進められる仕組みづくりの検討が必要です。

2. 計画策定後に進める検討事項（例）

「実施体制の再考」を見据えて、計画策定後、令和4（2022）年度中に検討が必要と思われる内容を図表7.1のとおり例示します。

運営会議の役割、検討事項、部員の派遣方法等の運営体制のほか、今回検討会で議論した事業等、新規事業について、住民が「やりたいこと」を後押しする事業についても、モデル的な実践を進めます。

図表 7.1 計画策定後に進める検討事項（例）

検討主体	検討事項
役員会	運営会議の機能・役割整理、人選
運営会議	部員派遣方法のあり方、参加方法のあり方
運営会議・区長会	部長選任方法のあり方
役員会	検討事項に関わる規約、組織図の見直し
運営会議	住民が「やりたいこと」を後押しする「(仮称) チャレンジ事業」の検討、事業評価等
部会	(仮称) 三部合同企画会議 (2022 年秋)

清滝地区地域づくり計画
“清滝地区のこれからを考える清滝ビジョン”
2022年3月発行

発行者：桜・清流の郷 きよたき
企画・検討：清滝地区地域づくり計画検討委員会